2024年度 AccessReading 読書感想文コンテスト アストロ杯受賞作品集

AccessReading
東京大学先端科学技術研究センター社会包摂システム分野

もくじ

✧　**全体講評** ……3

✧　**開催概要** ……4

✧　**受賞作品**

◆ スーパーノヴァ賞(優秀賞) ……6
小畑賢真さん　京都府亀岡市立安詳小学校 5 年生
作品名：うちゅうの希望

◆ スピカ賞(優秀賞) ……8
古川結莉奈さん　神奈川県横浜市立東俣野特別支援学校小学部 6 年生
作品名：ブラックホール

◆ シリウス賞(優秀賞) ……9
出口優人さん　広島県東広島市立磯松中学校 3 年生
作品名：宇宙を知ることで考えは広くなる

◆ ヘラクレス賞 ……12
日野至さん　東京都墨田区立曳舟小学校 4 年生
作品名：先生へ

◆ ベテルギウス賞 ……13
中嶋晃大さん　大阪府私立四條畷学園小学校 5 年生
作品名：すべてに存在するブラックホール

◆ M87 賞 ……14
太刀川巧人さん　千葉県流山市立流山北小学校 6 年生
作品名：ブラックホールに行きたい

◆ シグナス賞 ……15
川口裕聖さん　茨城県守谷市立愛宕中学校 1 年生
作品名：「ブラックホールってなんだろう？」を読んで

✧　**奥付** ……17

※掲載は学年、五十音順

全体講評

審査員　嶺重慎先生（京都大学名誉教授）

2024 年 11 月に亡くなられた谷川俊太郎さんの作品に「二十億光年の孤独」という詩があります。

人間は小さな球（たま）の上で

眠り起きそして働き
ときどき火星に仲間を欲しがったりする
・・・・・・

ひとは地球の上で、いそがしく過ごしています。そしてときに星空をながめて、遠くの宇宙に思いをはせたりするかもしれません。そこは地球とはちがった世界、そこに行ってみたい、そこには自分たちとはちがう仲間がいるかもしれない……なんて思うと、わくわくしませんか。私は宇宙の研究者ですが、ふとそんなことを考えたりすることもあります。

応募作品をあらためて読み返し、この詩を思い起こしました。書き手それぞれの思いが込められ、想像力・表現力が豊かに発揮された作品群です。私自身、とても楽しく読みました。きっと書いた本人も、わくわくしながら、夢中になって書いたのだろうと思います。

コンテストは来年も続きます。つぎは、あなたが挑戦してみませんか？

開催概要

開催趣旨

ICT を活用して、本を読んだり作文を書くチャレンジをしてみよう！
本を読むこと、読んでみて感じたこと、初めて知ったこと、調べてみたこと、考えたことなどをまとめるプロセスを体験し、今後の学びに役立ててみよう！

主催

東京大学先端科学技術研究センター社会包摂システム分野 AccessReading

✓ AccessReading(アクセス・リーディング)とは？
読むことに困難があり、特別支援を必要とする児童生徒に向けて、教科書や一部の一般書籍の電子データを製作・提供しているプロジェクトです。東京大学先端科学技術研究センター社会包摂システム分野と、同大学図書室が共同で運営しています。

審査員

嶺重　慎／京都大学名誉教授
近藤　武夫／東京大学先端科学技術研究センター教授
風早　史子／東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

課題図書

①嶺重慎著『ブラックホールってなんだろう？ たくさんのふしぎ傑作集』福音館書店
②嶺重慎著『新・天文学入門 カラー版』岩波ジュニア新書
AccessReading から配信される EPUB 形式／DOCX 形式の電子書籍を活用しよう。
伊藤忠記念財団わいわい文庫のマルチメディアデイジー形式の活用も可！

応募資格

AccessReading に登録している児童生徒

応募作品

1200 文字以内。上述の課題図書を読んだうえで、その感想を自由に書くこと。
エッセイ、詩、物語風など、形式は自由。提出は電子媒体ですること。

審査基準

内容のおもしろさについて審査。「が」「も」「の」「を」などの助詞の使い方を含む日本語表現の正確さは、審査の対象とはしません。

応募スケジュール

2024 年 7 月 5 日告知とエントリー開始
2024 年 9 月 6 日エントリー〆切
2024 年 9 月 20 日作品提出〆切
2024 年 11 月 11 日受賞作品発表

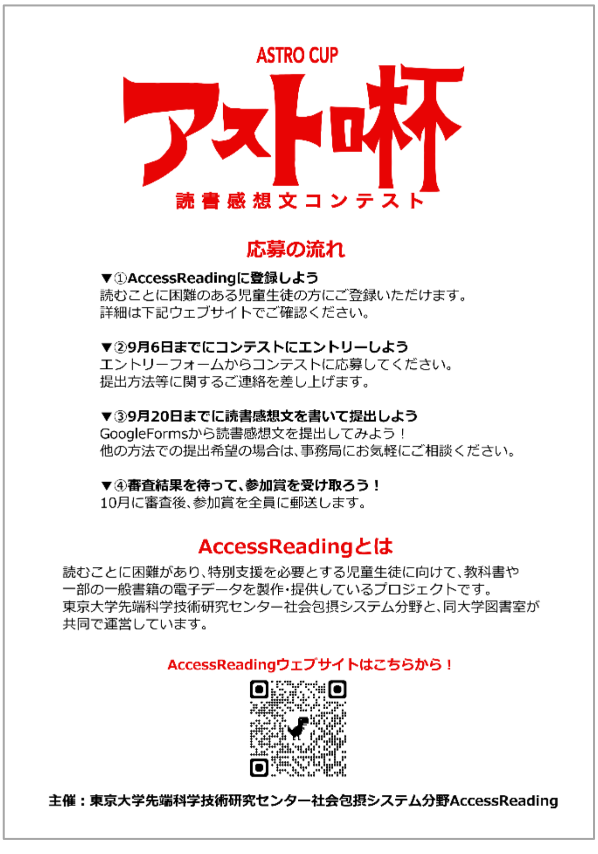
謝辞

伊藤忠記念財団わいわい文庫さまには、本コンテスト開催にあたって、ご賛同とご協力をいただきました。ありがとうございました。

開催ウェブページ

https://accessreading.org/2024astro/

開催チラシ

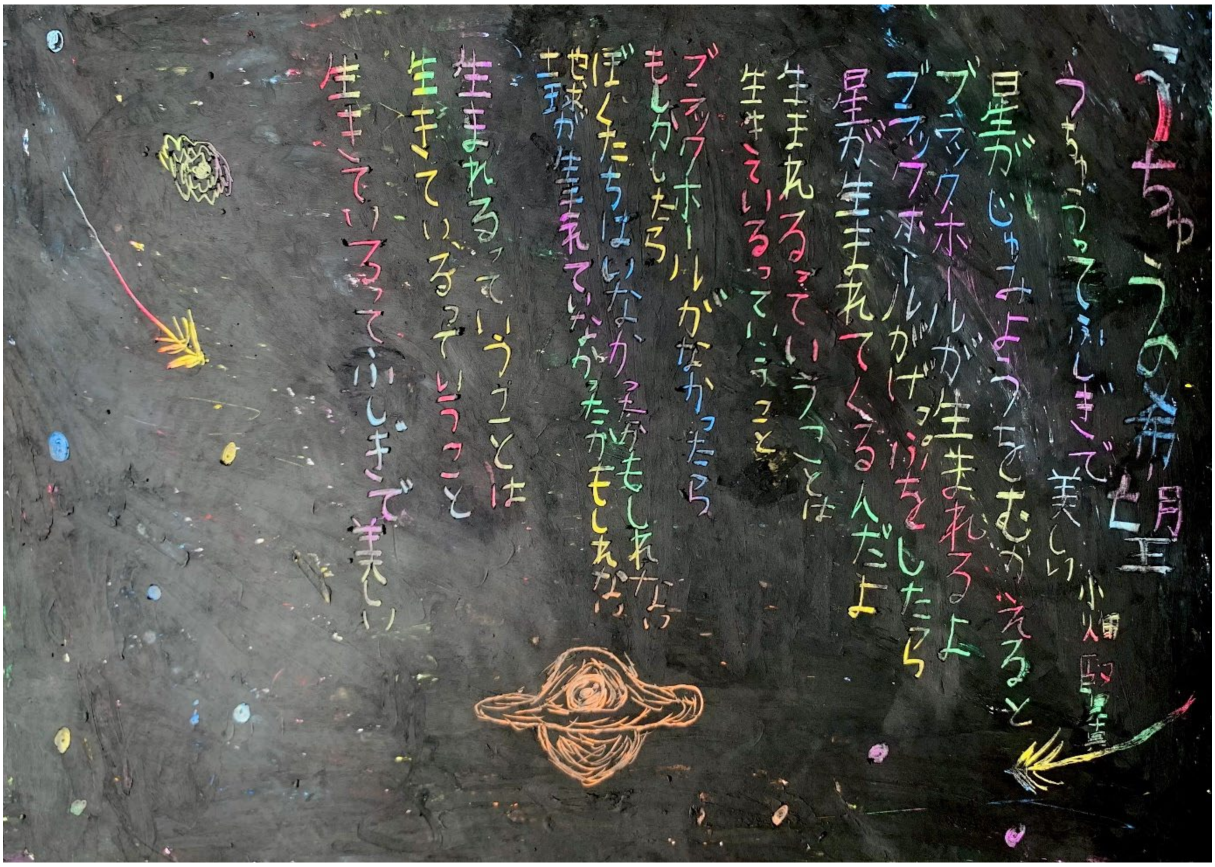


受賞作品

スーパーノヴァ賞（優秀賞）　小畑賢真さん

京都府亀岡市立安詳小学校 5 年生
読みの困難さ：読み書き困難

作品名：「うちゅうの希望」



うちゅうの希望　小畑賢真
うちゅうってふしぎで美しい
星がじゅみょうをむかえると
ブラックホールが生まれるよ
ブラックホールがげっぷをしたら
星が生まれてくるんだよ
生まれるっていうことは
生きているっていうこと

ブラックホールがなかったら
もしかしたら
ぼくたちはいなかったかもしれない
地球が生まれていなかったかもしれない
生まれるっていうことは
生きているっていうこと
生きているってふしぎで美しい

電子書籍を使って課題に取り組んでみたご本人の感想

読み上げ機能で読んでもらうことで、読む負担が減って疲れが出にくくなりました。
そのおかげで、新しいことを知ったり、内容を楽しむことができました。
僕は、詩を書くのが好きで、絵は僕の特技です。うちゅう感を出すためにまわりを暗くして、文字を虹色にして宇宙の美しさを表現しました。
普段は字を書くのが疲れるけど、この感想文を書いている時は疲れたけど、とても楽しくて夢中になりました。

スピカ賞（優秀賞）　古川結莉奈さん

神奈川県横浜市立東俣野特別支援学校小学部 6 年生
読みの困難さ：肢体不自由

作品名：「ブラックホール」

なんでも吸い込む黒い穴
竜巻の大きいやつ？
滑り台のように吸い込む黒い穴

ハ、ハ、ハクション！ガスを吐きだしました
巨大ブラックホールもハ、ハ、ハクション！！

ハクションがガスとゴッツンコ！
ガスがギュー一ーッ！　重力でウィーンンンーーン！

ジャジャーン！ピカピカー！お誕生日おめでとうー！

お誕生日が繰り返されて…
ズズズズズズ…完成！
ギャラクシーテーマパークができました！

ワーイ！やったー！たのしー！
見晴台で見守っているスタッフのブラックくん

ブラックホールは謎の天体
今も 新しい遊具を作っているそうです

20240915
古川結莉奈

電子書籍を使って課題に取り組んでみたご本人の感想

いつでも好きなときに読めるのがうれしいです。
これからもたくさん本を読んでみたいです。

シリウス賞(優秀賞)　出口優人さん

広島県東広島市立磯松中学校 3 年生
読みの困難さ：ADHD、ASD、聴覚情報処理障害

作品名：「宇宙を知ることで考えは広くなる」

私は、宇宙は 8 歳の時から興味がありました。本や図鑑で、ブラックホールを知りました。

不思議なことや、宇宙について、僕はずっと話せそうでしたが、

友達はゲームや漫画や外遊びの方が楽しいみたいで

友達と意見交換することはできませんでした。

最近は、ブラックホールの作られ方、遠い未来、ブラックホールから、

どういうエネルギーの取り出し方があるのか？

ブラックホールにはどういった現象があるのか？など、

『kurzgesagt 』と言う YouTube アカウントで見たことがあったのですが、

ブラックホールについての歴史について詳しく知りませんでした。

今本を読んで、

『ブラックホールという概念がありそれがアインシュタイン博士の相対性理論によって

できる原理がわかり現実味を帯びていた。

そして最近になって写真を撮ることに成功したということがわかりました』

と新しく知れました。

天体を研究する人は、

『もしかしたら、重力が強すぎたら、光さえも吸い取る天体がある

と言う考えから始まった』と聞いて、

僕は生まれてきてから、そのようなことを

考えたことがなかったので、新しい考えを出せる人は、

とんでもないことを思いつくのだと思いました。

人間は思いつくことによって、何かを考え

研究を繰り返して発見できることは素晴らしです。

僕は、僕はご飯を食べる時や、おふろにはいっている時は暇なの

で、いつも創作やロボットの設計などを何か考えています

人間は、情報を受けて取るだけでなく、

色々考えることがが大事だと思いました

まだ存在が立証されていないものとして、

ブラックホールが存在が確認されたことを知り、

『ダークマター』もいつの日かわかる日が来るのかなと思いました。

世の中には、悩みがある人が多いです。

そのなかで、僕はポジティブに考えられるのも、

今これに失敗したとしても、広い宇宙には何も影響がない。

と思い、失敗を恐れず行動でき、

失敗をしても落ち込まないことができるのも、

小さい頃から宇宙は広いと知っていたからだと思います。

この本を読んで、宇宙は広いんだ。と、プラスの考えになる子供がいると思いました。

電子書籍を使って課題に取り組んでみたご本人の感想

３年生から６年生まで、毎日６冊学校に持っていってひたすら本を読んでいました。
中学生になり、紙の書籍だと、読みたい本の文字が小さすぎて、フォントも見えにくく最近は、本離れしていました。
読み上げすることにより、スラスラ頭の中に入ってきたので、とても、読みやすかったです。

参加できた理由

原稿用紙のマス目が目に飛び込んできて、枠内に書くことが難しかったので、提出方法が選べることで参加できました
読書感想文は、特性上、登場人物に共感が難しく、今まで一度も書けなかったのですがお題が宇宙だったので挑戦してみようと思えました

ヘラクレス賞　日野至さん

東京都墨田区立曳舟小学校４年生
読みの困難さ：SLD

作品名：「先生へ」

先生
こんにちは。本を読みました。
ブラックホールの本を読んで思った事は、僕はまだまだブラックホールについて知らないことがたくさんあるんだなということです。
ブラックホールはガスを吸い込むばかりだと思っていました。けれど、吐き出すことは知らなかったのでびっくりしました。
ぼくにとっての宇宙の入り口は星座とプラネタリウムでした。今、僕が宇宙と聞いて思いつくのはガンダムです。宇宙のことに興味が少しあったから、ガンダムにつながったのかもしれないなと思います。
先生はどうしてブラックホールの本を書こうと思ったのですか？いま先生がブラックホールで一番気になっていることはなんですか？よかったら教えてください。

電子書籍を使って課題に取り組んでみたご本人の感想

自分でよむより電子書籍が読んでくれるほうが読むのは楽だった。
読み間違えが少しあったけど、ぷぷぷっと笑っちゃう感じでおもしろかった。

ベテルギウス賞　中嶋晃大さん

大阪府私立四條畷学園小学校 5 年生
読みの困難さ：ADHD、ASD、ディスレクシア、ディスグラフィア

作品名：「すべてに存在するブラックホール」

ブラックホールのしくみは、中に、巨大なパワフルなダイソン掃除機があると小さい頃から思ってましたが、実際は違いました。この作者は 40 年もブラックホールの研究をやり続けている。夢中になってできることに出会えてすごいと思った。もちろん夢中になると音も光もなくなる。まるでブラックホールのように集中できるようなことに出会えたのはすごい。なんでそんなにブラックホールにとりつかれたのかも気になった。僕も自分のブラックホールを見つけたい。

電子書籍を使って課題に取り組んでみた感想

　ぼくたちは文字を読むのに目も使っている。耳だけを使うんじゃない。学校でも先生たちが読み上げしてくれるけど、音だけじゃだめなんだ。分かってほしい、僕たちのこと。僕たちの読み方がある。読んでるところが光るのが大切。だから、ハイライトで読み上げたところが光って欲しかった。

M87 賞　太刀川巧人さん

千葉県流山市立流山北小学校 6 年生
読みの困難さ：発達性読み書き障害

作品名：「ブラックホールに行きたい」

ブラックホールの本を読みました。そこで僕はブラックホールについて知ってたことはすぐ全部吸い込んじゃうということです。でもこの本を読んでいろいろと知らないことがあったので言います
自分はブラックホールは結構昔からあると思っていましたが、本当はブラックホールは2019 年に本当の証拠がありました。
200 年以上前からフランス人がブラックホールはあるんじゃないかという話はしていたそうです。
地球から 5000 万光年かかるらしいです。
地球に近すぎると全部の光までも吸い込んでしまいます。
人もジャンプできなくなり、さらにブラックホームが近づいたら人間はペシャンコになります。
自分はブラックホールはないと思っていましたがありました。そういう証拠があったからです本当です。200 年前にフランス人が面白く言っていたそうですが 2019 年にブラックホールがあることが確定しました。

自分はブラックホールに生きると思っています

自分はブラックホールと宇宙がぶつかってもいいと思います。ぶつかったら暗闇になって動きずらいと思いますなぜかというとみんな装備したら安心だしみんなブラックホールに入りたいと思うし、とても暗そうで楽しそうです。

自分はブラックホールの中に入りたいです、なぜかというと、ブラックホールの中に入るのが夢だからです。どうして夢かというと暗くて楽しそうだからです。どのようにいくかというとヘルメットなど宇宙服を着て入れば自分は安心だと思います、光は吸い込まれるかもしれませんけど。ペシャンコにならない服を見つけたり作ったりしたいです、それでいつか行きたいと思います。

電子書籍を使って課題に取り組んでみた感想

とても最初はむずかしかったけど、がんばって長く書きました。
とても疲れたけどやってみると簡単だった。

シグナス賞　川口裕聖さん

茨城県守谷市立愛宕中学校１年生
読みの困難さ：ディスレクシア、ADHD 傾向

作品名：「『ブラックホールってなんだろう？』を読んで」

　僕は今年の夏休み、家族旅行で盛岡に行き、真っ暗な夜空にキラキラ光る天の川と流れ星(ペルセウス流星群)、を観る事が出来ました。旅行から帰ってきて、『ブラックホールってなんだろう』の本を母に勧められ、読む事にしました。

○　ブラックホールという言葉は姉が発言していたので耳に残って知っていましたが、これまで意味は知りませんでした。
○　ブラックホールは今まで地球よりも大きいと思っていましたが地球よりも小さいことが分かりました。
○　ブラックホールは宇宙に一個しかないと思っていましたがたくさんあった事に驚きました。一瞬にして引き延ばされ、吸い込まれたら怖いなと思いました。
○　ブラックホールに吸い込まれる力は地球の台風と同じ原理で自転して勢力を増していると思いました。
○　ブラックホールに吸い込まれると、動物はぺしゃんこになるかもしれないけど、小さな昆虫は助かるかもしれないし、もっと小さいアミノ酸の状態になって噴出されよみがえるかもしれないと思いました。
○　特異点についてまだわかってないし、超新星爆発のトリガーになるかもしれないという事を知りました。
○　銀河の中のブラックホールはどの様な役割なのかとても気になってきました。
○　どうしてガスを噴き出すのか不思議だと思いました。
○　宇宙の悪役で無かったことに驚きました。
○　人間がブラックホールのエネルギーが有効活用出来たら、世界は平和になるかもしれないと家族で話し合いました。
○　ブラックホールは、実は太陽系・銀河系誕生の影の立役者かもしれないと思いました。

　『ブラックホールってなんだろう』を読んでたくさんの疑問や、考えが浮かびました。読み終わった後、僕は、この本の夜空を見上げる少年のタイトルの絵に、たくさんのブラックホー ルが描かれていることに気づきました。これまで夜空を見上げた時、光る星しか見えてい ませんでしたが、白や赤に輝く無数の星と一緒にたくさんのブラックホールが点在し宇宙の 役割を担っていることを知りました。生命の起源にも大きく関係しているのかもしれない なと思いました。これまで知らなかったことを認知するって素晴らしいし、家族で話し合うことも楽しいと思いました。次回は新天文学入門を読んでみたいと思いました。

電子書籍を使って課題に取り組んでみた感想

本を読むより読みやすかった。
耳からと画面が大きかったから
難しかったところはパソコンの操作が慣れていないから難しかった。

奥付

- 本書に掲載した内容の無断転用を禁じます。
- 作品のタイトル・説明文は、原則、応募者本人が応募フォームに記載したとおり表記しています。
- 絵画は実際の作品と色合いが多少異なる場合があります。

2024年度 AccessReading 読書感想文コンテストアストロ杯入賞作品集

発行日　：2024年11月29日
編集・発行　：AccessReading 事務局
153-8904
東京都目黒区駒場 4-6-1
東京大学先端科学技術研究センター社会包摂システム分野
03-5452-5229
info@accessreading.org